

授業科目	*公衆衛生学					実務家教員担当科目	○	
単位	1	履修	必修	開講年次	1	開講時期	後期	
担当教員	布花原 明子							
授業概要	本授業は、行政保健師の経験を持つ実務家担当教員が、すべての人々の権利である「健康」をまもるための国の責務と、それを実現するための公衆衛生の役割、また生活環境や地球環境といった「外的環境」が人々の健康生活に及ぼす影響とそれに対する公衆衛生の対策について基本的な知識を概説します。日常生活を健康の視点から見つめると、普段は意識していない環境と健康との深いつながりがみえてきます。そして、歴史的変遷のなかで、現在まで人々の生命に深く関わっている公衆衛生の意義を知ることができます。							
授業形態	対面授業	授業方法						

## 学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 人々の健康を保障する国の責任と公衆衛生の役割を説明できる (DP1-2)。
	2. 公衆衛生の定義、理念を説明できる (DP1-2)。
	3. 疫学研究と公衆衛生活動との関連を説明できる (DP2-2)。
	4. 環境が人々の健康に及ぼす影響と主要な対策を説明できる (DP1-2, 2-2)。
	3. 公衆衛生活動の基本となる地域保健法を説明できる (DP1-2)。
	学生が達成すべき行動目標1～4を達成すること。
理想的レベル	標準的なレベルに加え、公衆衛生の現状や課題について関心をもち参考図書などを用いて積極的に自己学習ができる。

## 評価方法・評価割合

評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	100%	
小テスト	0	
レポート	0	
発表（口頭、プレゼンテーション）	0	
レポート外の提出物	0	
その他	0	

## カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

DP1	○	DP2	○	DP3	-	DP4	-	ナンバリング	NU11107J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

## 学習課題（予習・復習）

授業で示された学習課題に取り組み、興味や関心、疑問点、授業外で調べたことを配布ノートに加える。	1回の目安時間（時間）
	4

## 授業計画

第1回	オリエンテーション すべての人々の健康と公衆衛生の意義 健康の概念、公衆衛生の定義、役割、予防医学の概念 担当：布花原明子

第 2 回	<p>公衆衛生の理念 プライマリヘルスケアと SDGs 担当：布花原明子</p>
第 3 回	<p>疫学研究と公衆衛生活動との関連 担当：布花原明子</p>
第 4 回	<p>地球環境と健康 地球環境が人々の健康に及ぼす影響と世界、日本の環境保全の対策 担当：布花原明子</p>
第 5 回	<p>生活と環境・健康 1 大気汚染・水質汚濁・土壤汚染、室内環境に関する対策 ごみ・廃棄物に関する対策 担当：布花原明子</p>
第 6 回	<p>生活と環境・健康 2 食品及び食の安全に関する主な制度・対策 健康食品、保健機能食品、特別用途食品について 担当：布花原明子</p>
第 7 回	<p>地域保健法 日本の保健医療行政の体系 保健所と市町村保健センターの役割 担当：布花原明子</p>
第 8 回	<p>公衆衛生の理念に基づいて環境と健康との関連を振り返り、自身の課題として、また看護者としての役割を考察する。 担当：布花原明子</p>
テキスト	<p>公衆衛生がみえる 2024/2025, メディックメディア</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公衆衛生マニュアル</li> <li>・系統看護学講座：基礎専門分野 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②（医学書院）</li> <li>・厚生労働省 <a href="https://www.mhlw.go.jp/index.html">https://www.mhlw.go.jp/index.html</a></li> <li>・環境省 <a href="https://www.env.go.jp/">https://www.env.go.jp/</a></li> </ul>
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題は、授業時または授業後にコメントをフィードバックする。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>公衆衛生学の範囲は広く、テキストに網羅されている内容は、本学の「保健統計学」「感染と免疫」「社会保障概説」、「公衆衛生看護学概論」「疫学」「国際看護学」「医療と倫理」及び各看護学概論にも含まれますので、公衆衛生学の科目と関連科目との知識を関連させて理解することを期待します。</p>